

今日から使える!

# Classroom English

## Lesson 6

### 授業の終わりに 使える表現

Hello, everyone!

前年度から英語の授業をがんばっている方も、今年度から初めて英語の授業を担当している方も、授業の始まりと終わりの英語でのあいさつを元気にできていますか。連載最終回は、授業の終わりに役立つ表現です。とはいえ、授業の終わりのための特別なものではなく、ふだんの別れ際のあいさつとして使えるものばかりです。英語の授業がない日でも、ALTや児童が帰るときに積極的に使って、自然な英語でのコミュニケーションの機会を増やしましょう。

英語力に自信がないと、授業以外でのALTとのやりとりを避けてしまうこともあるかと思います。あるいは、ALTが日本語を上手に話せるので、つい英語を使わずに日本語だけで済ませている方もいるかもしれません。英語は使いながら覚えることが大切です。授業の始まりのあいさつは、この連載の第2回「授業の始まりに使える表現」で紹介していますので、セットで練習をしておきましょう。

### That's all for today.

今日はここまでです。

That's all(それで終わりです)/ for today.(今日のところは)という意味のまとまりで覚えるとよいでしょう。That'sはThat isの省略形です。発音のポイントは、thの音です。カタカナの「ザ」の音にせず、できるだけ自然なthの音に近づけるように次のことを意識しましょう。舌先を、上の前歯のいちばん下に軽く触れさせたま息と声を出すと、thの音が出ます。“That's all.”だけで、自分の話やレストランでの注文の終わりを知らせるときにも使えます。

### It's time to finish.

終わりの時間です。

It's time(時間です)/ to finish.(終わる)という意味で、こちらも終わりを告げる表現です。さらに“Clear your desks.”(机の上を片付けなさい)や“Put everything away.”(すべてしまいなさい)と続けてもいいでしょう。finishを、stop(やめる)やsay goodbye(さよならを言う)に、授業の始めならstartにも置き換えて使えます。また、“It's time to go home.”(家に帰る時間です)や“it's time to eat.”(食事の時間です)“It's time to clean.”(掃除の時間です)のように、動詞を変えて表現を増やすことができます。

菅井幸子 すがい さちこ

株式会社イーオン 東京本社法人部 学校教育課 教務コーディネーター

岩手県生まれ。大学卒業後、イーオン入社。

2007年より教務課トレーナーとしてイーオンスクールの教師育成に従事。15年に学校教育課の立ち上げに参加し、全国の教育委員会や学校で、教員向けの英語指導法や英語力アップの研修などを行っている。

### Goodbye, everyone.

みなさん、さようなら。

日本語でのあいさつは、呼びかけの「みなさん」が先にきますが、英語の場合は呼びかけがあとに続きます。

児童に「さようなら」と言ってほしいときは、say goodbye toに、ALTの名前やeach other(お互いに)という単語を続けるといいでしょう。“Let's say goodbye to Joe-sensei.”“Let's say goodbye to each other.”といった具合です。ちなみに、「あいさつをする」という動詞greetもあります。これは“Let's greet each other.”(お互いにあいさつをしましょう)となるので、授業の始まりにも終わりにも使えます。

### Have a nice day.

よい1日を。

この表現をALTに言われたら、“Thank you, you too.”(ありがとう、あなたもね)と自然に返せるように、児童にも慣れ親しませたいものです。niceをgreatやwonderfulなどのほかの形容詞にしたり、dayをevening(夜)、weekend(週末)、vacation(休み)に言いかえたりもできます。児童もこの表現に慣れてきたら、少しアレンジしてみましょう。授業のあとが給食なら“Have a good lunch.”(楽しい昼食を)、次も授業が続くようなら“Have a good class.”、夏休み前に“Have a safe trip.”(安全な旅を)といった具合です。

#### ★ここがポイント!!

別れのあいさつに加えて、nextを使った未来表現も紹介しました。nextのほかにはthis weekend(今週末)もありますが、少し注意が必要です。「月曜日に」は曜日の前にonをつけて“See you on Monday.”と言えますが、nextやthisには「～に」という意味が含まれるので“See you next Monday.”や“See you this weekend.”と言いましょ。これからも児童と一緒に楽しみながら、英語を使ってくださいね。「習うより、慣れよ」です！ 応援しています。See you again!

### See you next week.

また来週会いましょう。

“See you.”だけで「またね」としても使えます。nextに時を表す単語を続けて、next time(次回)、next month(来月)、next Monday(来週月曜日)としたり、See youにtomorrow(明日)、soon(すぐに)、later(あとで)、again(また)と続けたりもできます。前置詞のafterやinなどを使うと表現の幅が広がります。after the vacation(休み明けに)やin an hour(1時間後に)といった具合です。seeのsの音は、she(彼女は)のshの音と違います。「シ」ではなく「スイ」を意識できるといいですよ。